

コロンビア経済情勢（１０月）

【ポイント】

- ９月の年間インフレ率は１１．４４％に上昇。
- ２０２３年一般会計予算を承認。
- 中央銀行は、政策金利を１１％に引上げ。
- 中央銀行は、２０２３年の経済成長予測を０．５％に引下げ。

【本文】

１ 主な出来事

<国内情勢>

（１）貿易

（ア）コーヒーの生産量、輸出量は減少（「ラ・レプブリカ」紙、３日）

コロンビアコーヒー生産者連合会（FNC）は、９月のコーヒーの輸出量は８２万袋（１袋６０キログラム）で前年同月と比べ２５％減、２０２２年１月から９月の輸出は約８６０万袋で前年同期と比べ６％減、また、９月の生産量は前年同月と比べ３１％減、１月から９月の生産量は前年同期と比べ１０％減と発表した。同連合会は、ラニーニャ現象による過剰降雨などの天候要因が生産量と輸出量に影響を与えたと説明した。

（イ）高い生産コストは農産物輸出に影響（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、６日）

Corficolombiana（金融投資会社）は、農産物の輸出は、２０１５年から２０２２年にかけて確実に増加、コーヒー、パーム油、花卉などの主要産物が農産物全体の９２％を占め、輸出数量と総額の両方で最高数値を記録したと報告した。一方、国際情勢、天候不順の影響から、主要輸出農産物は高い生産コストとなり、見通しは厳しい状況にあるとした。

（ウ）砂糖菓子の輸出は５２％増加（「ラ・レプブリカ」紙、１４日）

２０２２年１月から８月の砂糖を使った菓子の輸出は、１億５，３４０万米ドルに達し、前年同期と比べ５２．７％増加した。主な輸出先は、ベネズエラ、米国、ペルー、エクアドル、チリ。

（エ）輸入は３６．２％増加（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、２０日）

国家統計庁（DANE）は、８月の輸入を７２億９，７６０万ペソ（CIF）で３６．２％増加と発表した。主な輸入国は中国で全体の２４．４％を占め、米国２２．４％、ブラジル８．８％、メキシコ５．０％と続く。また、同月の貿易赤字は２１億６，８２０万米ドル（FOB）で前年同月比４６％増加した。

(2) ガソリン価格を値上げ(「ポルタフォリオ」紙、2日)

政府は、燃料価格安定化基金(Fepc)の赤字を解消するため、10月から国内ガソリン価格を値上げすると発表した。オカンポ財務・公債相は、10月の値上げは予定する3回の値上げの1回目で、値上げにより15ヶ月の間に同基金の赤字が90兆ペソ削減されるとした。

(3) 住宅販売数は2%近く減少(「エル・ヌエボ・シグロ」紙、2日)

全国建設会議所(Camacol)によると、8月の新築住宅販売数は1万4,912万戸で、前年同月と比べ33.5%減少、2022年1月から8月の販売数は16万5,424戸で、前年同期と比べ1.9%減少した。バンコロンビア銀行は、金利、住宅向け補助金予算の残高、税制改革の影響により、2022年第4四半期の販売数の更なる減少を予想する。

(4) インフレ率は11.44%に上昇(「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、5日)

国家統計庁(DANE)は、9月の年間インフレ率が11.44%に達したと発表した。部門別では、食品、非アルコール飲料部門が26.62%と最も高く、飲食、宿泊部門の16.27%と続く。情報通信部門は▲6.65%と唯一のマイナス部門となった。

(5) 天然ガスに最大10兆ペソ投資(「ラ・レプブリカ」紙、6日)

エコペトル社は、今後数年で天然ガスのプロジェクトに8兆から10兆ペソの投資の予定があることを明らかにした。2040年までに50%近くの成長を期待しているとし、政府の進めるエネルギー転換に天然ガスは不可欠であると述べた。

(6) ボゴタメトロ2号線プロジェクトの詳細を説明(「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、7日)

ボゴタ市、ボゴタメトロ社、国家開発銀行(FDN)はボゴタメトロ2号線プロジェクトの詳細を説明し、2023年前半入札開始、10月頃事業者決定、2032年操業開始の予定とし、路線距離15.5キロ(うち14.3キロが地下)、駅数11駅(うち10駅が地下)とし、総額は34.9兆ペソとした。

(7) 農地改革の一環として政府は300万ヘクタールの土地を購入(「ポルタフォリオ」紙、「エスペクタドル」紙、7日、26日)

政府と牧畜業者連合会(Fedegan)は、300万ヘクタールの土地購入で合意した。ロペス農業相は、農地改革は、1万2,600世帯への土地の提供、12万5,000ヘクタールの土地の農民組織への貸出し、500万ヘクタールの土地

の購入と農民等への低価格での売却の3要素で進められるとし、Fedeganとの合意により土地の購入が開始されると説明した。

しかし、ロペス農業相は、上院第5委員会で、現政権の4年間で300万ヘクタールの土地を購入することは不可能と述べた。土地の評価には時間がかかると指摘し、長期的に持続可能なものとする観点から、将来の政権に法的枠組みを残すべきとした。

(8) 配車プラットフォーム事業を違法と指摘（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、7日）

ペトロ大統領は、タクシー事業代表者との会合で、Uber、DiDi、Cabify、Beatなどの配車プラットフォーム事業について、違法な形態で公共サービスを提供していると述べ、同事業の将来のガイドラインを検討する政府作業部会の設置を指示した。

(9) ICTの民主化（情報技術・通信省、7日）

ウルティア情報技術・通信相は、ICTの民主化が4年間の主な目標であり、接続性改善、デジタルによる知識・技術社会の発展、安全なシステム、防止措置、産業強化、視聴覚コンテンツ開発が軸となると説明し、主な課題は、遠隔地接続と生産性であると指摘した。

(10) アラブ系企業はデジタル銀行に投資（「ポルタフォリオ」紙、11日）

ア首連のコングロマリットであるIHC(国際持株会社)はルロ銀行に2億米ドルの投資を行い、コロンビアの金融事業に参入した。IHCは、同行への投資について、コロンビアは金融包摂が進んでいるとし、ラテンアメリカでの事業拡大計画に適合していると説明した。ルロ銀行は2022年6月にデジタル市場に参入し、利用者は10万人超に達している。

(11) 電気料金引下げ（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、12日、27日）

ベレス鉱業・エネルギー相と電力会社は、電気料金の低下を目指すプロジェクト協定枠組みの中でとられた措置を発表し、82社以上の電力会社が協定に参加し、4%から8%の電気料金の引き下げを目指すとした。

その後、鉱業・エネルギー省は、電気料金の2.7%の最初の引下げを発表した。配電業者協会(Asocodis)は、この引下げは年間1.5兆ペソの電気料金節約の最初のステップとなると評価した。

(12) 農業・農村の管轄権を定めるプロジェクトは下院の最初の審議を通過（「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、12日）

農業・農村の管轄権を定める憲法改正案（2022年法案第173号）は、下

院第1委員会での最初の審議で承認され、同院本会議に送られた。審議において、議会が農業裁判所判事の最初の選挙を行うことが同案に追加された。プラダ内務相は、土地紛争を解消する農地改革に貢献するとした。

(13) 2022年の消費は8%増加(「エル・ヌエボ・シグロ」紙、17日)
バンコロンビア銀行経済研究部によれば、2022年1月から8月末までの消費の実質増加率は8%とプラスだが、インフレが消費を制限しており、7月末から8月の間の消費の実質増加率は1%に近い数値で、消費の減速がみられる。

(14) 商業航空便は回復(「ポルタフォリオ」紙、17日)
ラテンアメリカ・カリブ航空運送協会(Alta)によると、2022年8月のコロンビアの国内便は2019年同月と比べ114%の回復、国際便は110%の回復を示し、コロンビアは、新型コロナウイルス流行の停滞から最大の回復を達成した国の1つとなった。

(15) 小規模生産農家への補助(「エスペクタドル」紙、18日)
農業省は、12万の小規模生産農家の肥料等の農業投入物の購入に対して20%の補助金を提供するプログラムを発表した。食料インフレを抑制するプログラムの一部で、12月までに800億ペソの提供を予定。

(16) バイオマスボイラーへ投資(「エル・ヌエボ・シグロ」紙、19日)
スマーフィット・カップパ社は、バジェ・デル・カウカ県ユンボにバイオマスボイラーを建設するため1億米ドルを投資するとした。木材処理廃棄物や製紙プロセスで発生する汚泥等を利用してクリーンエネルギーを生み出し、年間約20万トンの二酸化炭素(グループ全体の排出量の6%に相当)の削減を計画。2024年後半の稼働を予定。

(17) 税制改革は投資と貯蓄に悪影響(「ポルタフォリオ」紙、19日)
Corficolombiana(金融投資会社)によると、税制改革案は、短期的には税収を増やすが、長期的には投資と貯蓄(住宅購入含む)に悪影響を与えると分析した。平均的な利益率(7~8%)の企業では実行税率は利益の61.3%まで増加すると推計し、また、投資率は、2022年前半の23.0%から21.0%に低下、金融環境の悪化により更に20.2%まで低下する可能性があるとした。

(18) 議会は2023年一般会計予算を承認(「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エスペクタドル」紙、19日)
両院本会議は、2023年一般会計予算を2022年予算と比べ15.1%増となる総額405兆6,200万米ドルで承認した。歳出は、経常支出に20.1%増加となる253.6兆ペソ(全体の62.5%)、投資支出に74.02

兆ペソ（１８．３％）、債務償還支出に７７．９兆ペソ（１９．２％）が割り当てられた。歳入のうち税収は、２６４．３兆ペソ（全体の６５％）に増加すると推計される。

（１９）９月末に徴税目標の１１０％超の税収を達成（「ラ・レプブリカ」紙、２１日）

国税・税関庁（DIAN）は、２０２２年１月から９月末までの税収額が１７６．７６兆ペソに達し、税収目標の１１０．４％を達成、前年同期と比べ３５．５％増加となったと発表。

（２０）ラニーニャ現象の影響を受ける農業生産者を支援（「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、２６日）

農業省は、最近のラニーニャ現象による多雨の影響を緩和するための特別措置を発表し、融資コスト削減、信用供与拡大、さらに雨や洪水の被害を受けたセクターの金利コスト削減を行うとした。

（２１）政策金利を１１％に引上げ（「ラ・レプブリカ」紙、２８日）

中央銀行は政策金利を１ポイント引き上げ１１％とすることを決定した。また、２０２２年の経済成長率予測を７．９％に引き上げ、２０２３年の成長率予測を０．５％に引き下げた。

（２２）２０２３年の経済成長率予測を引下げ（「ポルタフォリオ」紙、２８日）

国際通貨基金（IMF）と世界銀行は、２０２３年のコロンビア経済の減速を予想し、経済成長率予測をそれぞれ２．２％、２．１％に引き下げた。財務・公債省は、８月に２．２％、９月には更に１．８％に引き下げている。

<対外経済関係>

（１）コロンビアは冷凍ポテトでWTOに上訴（「ポルタフォリオ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、１１日）

コロンビアは、ベルギー、オランダ、ドイツからの冷凍フライドポテトの輸入に対する反ダンピング関税に関する世界貿易機関（WTO）の最終報告に対して上訴した。同報告は、コロンビアの課税関税措置がWTOの反ダンピング協定の条項を遵守していないとする。ウマニャ商工観光相は、反ダンピング関税を維持することで国内生産部門の公正競争と平等を保証すると述べ、同措置は引き続き有効とした。

（２）Fenalcoとベネズエラ経団連は協定に署名（「ポルタフォリオ」紙、１４日）

コロンビア商業者連合会（Fenalco）とベネズエラ経団連（Fedecamaras）は、ビジネスイベント等を通じて両国の商業活動を促進する協定に署名した。協定の柱には、製品のプロモーションとマーケティング、両国の生産チェーン促進プロジェクト、国際協力プログラムがある。

主な経済指標

経済活動指標	2021/8	2022/6	2022/7	2022/8
国内総生産(四半期)(DANE): %	13.7	12.6	-	-
経済活動指数(DANE): %	12.4	8.6	6.4	8.6
経済活動指数第1次産業(DANE): %	2.5	-2.4	-1.7	2.6
経済活動指数第2次産業(DANE): %	12.6	9.5	7.1	11.5
経済活動指数第3次産業(DANE): %	14.3	10.5	7.6	9.0
エネルギー需要(XM): GWh	6,347	6,208	6,565	6,624
エネルギー需要-前年同月比(XM): %	5.7	3.1	3.4	3.7
雇用				
全国平均失業率(DANE): %	12.9	11.3	11.0	10.6
主要13都市失業率(DANE): %	13.4	11.7	11.3	10.8
消費				
消費者信頼感指数(FEDESARROLLO): %	-8.2	2.9	-10.4	-2.4
実質小売売上高指数(DANE): %	32.0	17.2	7.7	8.1
自動車販売台数(単月)(ANDEMOS): 台	21,099	23,323	23,258	24,410
自動車販売台数(年内累計)(ANDEMOS): 台	155,398	123,849	147,107	171,517
物価				
消費者物価上昇率-前年同月比(DANE): %	0.45	0.51	0.81	1.02
消費者物価上昇率-前年比(DANE): %	4.44	9.67	10.21	10.84
生産者物価上昇率-前月比(DANE): %	0.92	-0.59	2.60	-1.33
ガソリン価格(ボゴタ)(鉱山省): ペソ/ガロン	8,826	9,372	9,523	9,523
生産				
実質工業生産指数(DANE): %	22.9	12.3	5.2	9.1
実質工業売上高指数(DANE): %	21.7	9.6	3.5	7.7
新規建設着工承認面積(DANE): m ²	1,889,486	2,534,324	3,904,226	3,757,992
コーヒー生産量(FNC): 千袋(60Kg)	915	951	944	949
コーヒー生産量-前年同月比: %	-16	-10	-22	4
コーヒー価格(IOC)/11月から "SUAVE": USD	226.90	301.24	286.99	292.52
石油生産量(日量)(鉱山省): バレル	747,773	752,503	748,286	749,589
石油生産量-前年同月比(鉱山省): %	0.8	8.4	2.3	0.2
石油生産量(日量・年内平均)(鉱山省): バレル	732,350	747,529	747,637	747,881
石油価格WTI: USD /バレル	67.73	114.84	101.62	93.67
金融				
政策金利(中央銀行): %	1.75	6.00	7.50	9.00
為替 月初(中央銀行): COP	3,867.88	3,776.52	4,151.21	4,300.30
為替 月末(中央銀行): COP	3,806.87	4,127.47	4,300.30	4,400.16
為替 最高値(中央銀行): COP	3,988.27	4,129.87	4,627.46	4,413.86
為替 最安値(中央銀行): COP	3,806.87	3,771.63	4,151.21	4,185.49
株式指数 月初(中央銀行): COP	1,236.03	1,604.54	1,357.98	1,272.10
株式指数 月末(中央銀行): COP	1,319.96	1,322.88	1,295.96	1,228.33
株式指数 最高値(中央銀行): COP	1,334.48	1,614.09	1,357.98	1,333.07
株式指数 最安値(中央銀行): COP	1,226.59	1,322.88	1,259.80	1,228.33
貿易				
貿易収支(FOB)(DANE): 百万米ドル	-1,477	-331	-494	-2,254
輸出額(FOB)(DANE): 百万米ドル	3,465	5,549	5,914	4,497
輸出額(FOB)-前年同月比(DANE): %	34.0	74.4	71.7	29.8
輸出額(FOB)年内累計(DANE): 百万米ドル	25,098	28,640	34,554	39,050
輸入額(CIF)(DANE): 百万米ドル	5,348	6,368	6,891	7,298
輸入額(CIF)-前年同月比(DANE): %	49.8	29.4	43.5	36.4
輸入額(CIF)年内累計(DANE): 百万米ドル	36,803	38,506	45,397	52,695
労働者送金(中央銀行): 百万米ドル	744	822	889	769